

保健統計学 Health Statistics

講義番号	科目区分	学期
065127	専門教育科目	第3学期
ナンバリングコード	教室	
VMEH0MEHX2001N	保健学科棟301講義室	
必修・選択の別		
必修		
単位数	曜日・時限	
1	月7~8	
担当教員(ローマ字表記)		
谷垣 静子 [TANIGAKI Shizuko], 小野 美穂 [ONO Miho], 平見 有希 [HIRAMI Yuki]		

持続可能な開発目標(SDGs)



対象学生

看護2年

他学部学生の履修の可否

否

連絡先

講師: 医学部医学科 疫学・衛生学分野 頼藤貴志 他

* 緊急時連絡: 谷垣まで < calm@md.okayama-u.ac.jp >

オフィスアワー

E-mail<calm@md.okayama-u.ac.jp>で事前に相談してください。

学部・研究科独自の項目

使用言語

日本語

授業の概要

【概要】疫学・統計学を医学・保健学に適切に応用するための基礎を学ぶ。

学習目的

医療者として、なぜ疫学・統計学を学ぶ必要があるのかという大切な前提を確認する。

到達目標

自ら適切な疫学デザインや統計手法の選択ができ、また研究論文を用いられている研究デザイン・統計手法が妥当なものであるかどうか判断できるようになること。

授業計画

第1回・2回:10/3 統計学を学ぶ意義と必要性

第3回・4回:10/17 疫学指標と疫学研究デザイン

第5回・6回:10/24 保健統計の活用から多変量解析まで

第7回・8回:10/31 EBMとバイアス

第9回・10回:11/7 スクリーニング検査

第11回・12回:11/14 演習:統計パッケージを用いた具体的な解釈の実施(記述統計)
第13回・14回:11/21 演習:統計パッケージを用いた具体的な解釈の実施(多変量解析)

第15回・16回:11/28 演習のまとめと試験

■ 授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

- ・受講にあたって、紹介した参考書の関連部分を読んでおくこと
- ・計算式を暗記するのではなく、実際に計算してみてその意味の理解に努めること

■ 授業形態

(1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合

50% : 50%

(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)

少ない

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)

やや少ない

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)

やや多い

理解の確認・促進(問題演習、小テスト、小レポート、授業の振り返りなど)

やや多い

(3)授業形態-実践型科目タイプ

該当しない

(4)授業形態-履修者への連絡事項

オンデマンド授業のみで進めます。

■ 使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)

多い

学習管理システム(Moodleなど)

やや少ない

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)

やや少ない

履修者への連絡事項

<3学期> オンデマンド授業のみで進めます。

配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。

■ 教科書

備考

特に指定しない。

毎回、Moodleでスライド資料のデータを配布する。

■ 参考書

備考

■ 成績評価基準(授業評価方法)

終講試験の成績

■ 受講要件

受講に必要な予備知識・科目は特になし。

■ 教職課程該当科目

この項目は当該科目には該当しない。

■ JABEEとの関連

関連しない。

■ 持続可能な開発目標 (SDGs)

(保健)あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

(教育)すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

(平和)持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。

■ 実務経験のある教員による授業科目

■ 備考/履修上の注意

オンデマンド授業のみで進めます。

講義内容はmoodleへアップロードされます。

■ 学習成果 (LCOs)

「学修成果 (LCOs)」	関連するコア・コンピテンシー	評価の方法
専門的な技術を習得している。	問題解決力	試験
収集した情報から数量的スキルなどを用いて的確に分析できる。	数量的スキル	試験

[コア・コンピテンシーに関する説明](#)